

천지인문

天池人文

～我々が考え、我々が実行し、我々が支援し、我々の夢を実現する～

CHONJI CULTURE



天池倶楽部 発行

目録

天池倶楽部表紙	1
目録	2
天池のように；綺麗で、深くて、高く	3
私の「三国誌」	4
原稿のお願い（朝鮮語）	10
フリーマーケット・自由市場	11
詩鑑賞 「国籍」	12
天池倶楽部互助会コーナー（朝鮮語）	13
中国・朝鮮半島の最近のトピックス	14
第44回天池倶楽部定例会開催	15
1998年在東京地区中国朝鮮族秋遊大会記念	16
日本の「統一日報」における天池倶楽部紹介文抜粋	17
日本の雑誌「セヌリ」における天池倶楽部紹介文抜粋	18
漫画「三七開先生」	19
数値で見る中国	20
「日本車 日本文化」紹介（中国語）	21
「朝鮮民族共同経済圏形成のためのワークショップ」提案が意味するもの	22
天池人文原稿募集	24
編集後記	24
在日中国朝鮮族 1998年度忘年会開催案内	25
第45回天池倶楽部定例会通知	27
延辺サッカーチーム紹介	28

天池のように；綺麗で、深くて、高く

金 光林

我々の集まりを白頭山の天池に因んで「天池倶楽部」と呼んでいる以上、我々は天池から何かを学ぶべきではないでしょうか。

天池の水は神水で、我々は神水を飲んで育った人々の子孫であるという話があります。白頭山（長白山）は朝鮮民族の霊山であるとか、天池が満州族の発祥地であるとかという話もあります。しかし、21世紀を目前に迎えて、世界が益々グローバル化している今日、造物主が全ての人類のために造った一つの山、一つの池を特定の民族だけの所有であるかのように言うのはあまり賢明ではないと思います。

我々が天池から封建的、民族的思想ではなくて、より健全で合理的な精神を学ぶとすればそれは何でしょうか。

天池のように；綺麗で、深くて、高くなること、これこそ天池が我々に与えている大いなる啓示ではないでしょうか。

天池は綺麗です！ 環境汚染で地球村全体が病んでいる中で、天池は今なお原初的な綺麗な姿をそのまま残しています。天池の透き通る蒼い水は現代文明に疲れている人間の心に泉のような新鮮な感動を湧かせています。

天池は深いです！ 数百メートルにも及ぶ天池の底には、太古の神秘が隠され、そこからは地球内部の熱き溶岩の鼓動も聞こえてきそうです。人々が天池を敬うのは、何時かは爆発するかもしれない、多いなる雄心を潜んだその深さのためでもあります。

天池は高いです！ 標高2,744メートルの白頭山の頂上に横たわる天池は、空を飛ぶ鳥が仰ぎ見るし、風に流れる白い雲と戯れています。

天池倶楽部に集まる我々が、天池のように綺麗な心、天池のように深い知恵、天池のように高い自尊と人格を持つことに努めれば、我々の明日はより明るいものになるに違いありません。

天池のように綺麗で、天池のように深くて、天池のように高くなること、これは正に我々の願いであり、我々の夢であり、我々の使命ではないでしょうか？！

私の『三国志』

広島大学大学院博士課程 金 文学

あなたはどの国の方ですか

1997年8月7日。晴れ。

各国の旅客を乗せたボーイング767（日本航空）航空機は、広島から韓国の首都ソウルへ向かっていました。

私はソウルの大手出版社の招待で出版記念に参加することになりました。拙著『激変する中国』が刊行されてから思いがけず韓国読者の大きな反響を呼んだもので、今回また版を重ね、出版社から出版記念活動への出席を依頼されたのでした。私と同行したのは、実弟の金明学（京都大学大学院で歴史社会学専攻）がいました。

機内は空席一つなく満席でした。日本、韓国の乗客や大陸から来たというある文化団体の訪問団もいました。彼らは、韓国文化団体の招待を受け韓国に表敬訪問をするとのことでした。

民謡「サクラ」の美しいメロディーに伴って、機内では音楽のように跳躍感のある中国語、親切で耳に慣れた日本語、そして迫力とリズムの早い韓国語があちらこちらから聞こえてきました。飛行機の中は、あたかも高空の『三国志』の様相を呈しています。

ちょうど私も「才能を発揮する舞台」を得たのです。日本人の友人とは日本語で話したり、韓国人の乗客とは韓国語で話したりしながら、また弟と中国から来ている代表団のメンバーとは中国語で話しました。

隣席に座っていたH国立大学の日本人女子大生の田中さんは、好奇心に溢れた表情で質問したのです。

「先生はどの国の方ですか。中、日、韓の三ヶ国語がこんなに堪能なんで、一体どこの国の方か見分けがつかないですね」

私は日本語で答えを返しました。

「じゃ、田中さんは私のことを何人だと思いませんか」

「日本人のようですが、韓国人らしいですし、なぜか中国人にも見えます。ああさっぱりわかりません」

田中さんの話には私は思わずニッコリしました。

「そうです。僕は東洋人です」

まったくジョークのつもりもなかったのに、そう答えてしまったのも不思議です。

田中さんも大笑いをしていました。「あなたはまさに国際人ですね！」

.....

このエピソードをここで紹介することは、決して私自身の外国語のレベルがいかに高いかということや、マスターした外国語がいかに多いかということではなく、皆さんに日本での体験、つまり私の個人的『三国志』の物語をお聞かせするためであります。

私の『三国志』

私は韓国人の家庭で生まれ育ち、幼い頃から中国語と韓国語を併用してきたバイリンガルでした。大学卒業後は東北（旧満州）のある大学で日本文学の教師として勤務する傍ら、文学評論と創作に携わりました。（中国語と韓国語及び日本語で）間違いなく私は時代に恵まれた幸運児です。

一年未満の間日本語を勉強して高い点数で東北師範大学の日本語科に入学し、多くの人たちが数年間頑張っても出国留学を達成できなかったのに、私は幸運にも同志社大学から毎年アジア国籍の外国人留学生一名のみに支給される「新島奨学金」を獲得し、比較文学と比較文化を研究することになりました。

絶対多数のアジア籍留学生はアルバイトによって生活を維持し、学費を支払っている状態です。ことに、中国からの留学生と日本語学校の就学生は、毎日夜遅い時間まで皿洗いや苦しい肉体労働で生活を営んでいるのはことさら言うまでもありません。

しかし、幸運な私は、来日6年にしてまだアルバイトの味を味わったことさえありません。そしてまた異国異文化の接触による精神的、肉体的苦しみや悩みもさほど体験したことはありませんでした。

来日前にすでに奨学金の獲得が決まっており、来日後もさらに奨学金やさまざまな原稿料、印税や翻訳料などの収入があるゆえ、私はことさらアルバイトに励まなくとも生活するには十分でした。ですから、私は心からもっぱらアルバイトで生活する同胞留学生たちに同情し、その分までの時間と精力を勉学と著述活動に全力を注ぎました。

修士課程の時、ロシアやドイツ、韓国及び中国などで開催された国際学会に参加して数編の学術論文を発表し、国際韓国学及び比較学会の正式メンバーとして受け入れられ、国際高麗学会（青年会員）にも加入しました。

私は、常に何事をやるにしても、一番大切なのは、自分自身の長所や特徴を生かして、一番「可能性」のあるものをやらなければならないと考えました。無限に膨大な競争社会の中で勝ち抜け、自分の立脚場を獲得することができるのです。

それでは自分の長所といえば何なのでしょう。私は中・日・韓三ヶ国語を熟達にマスターしているし、自身もまた中国文化の中で生まれ育った韓民族です。幼い時からつねに中・韓二ヶ国語に馴れ親しみ、中韓両文化の薫陶の中で成長しました。

だから私は自分自身のことをよく文化人格上の「両棲類」にたとえます。また、さらに日本語を習得し、日本で長期間勉学、生活しているのでまさに「三棲類」とも言えるでしょう。国際化時代を迎えている昨今、一つの文化が増えたことでもあろうし、「国際的神器」が増えたことでもあります。

この意味から言えば、私は三つの「国際的神器」を手に入れたとも言えます。三つの「神器」を利用して、中・日・韓東アジア三ヶ国文化の比較研究を行なうことにしたら、これはまさに前人未踏の空白地を開拓することでもあり、私金氏に多いに発揮する「舞台」を得たことでもあるでしょう。

実は、この考えは中国で教鞭をとっている頃にもはや芽生え、その試みとしてまず韓国語で短論や比較論の文章を書きはじめ、中国と韓国の雑誌と新聞に少しずつ発表していました。日本留学は、私にとって自由な学術的雰囲気や環境を造りあげてくれたものに違いあ

りません。

在日韓国人雑誌のジャーナリストが私にインタビューをした時、このような質問を投げかけてきたのです。

「金さんはなぜ三つの国の文化比較への道選んだのですか？」

私はこう答えました。

「東アジア文化の流れは、中国文化を母体として韓国（朝鮮半島）というかけ橋を渡って日本に伝わったのですね。それなのに一ヶ国や二ヶ国の比較のみを研究するとしたら、それは全面的でなく固定概念に縛られた立体感に乏しいものだと思います。漢字文化を共有するこの三ヶ国の比較を通じてこそ、その全体像を見ることがはじめて可能ではないでしょうか・・・」

周りの日本人の友人たちはしばしばこのような誇大な賛辞を聞かせてくれるのです。

「金さんは中国語、日本語そして韓国語も堪能ですごいですね。私なんかは日本語しかできないんですからね。本当にウラヤマシイ！」

私が「いやいや、とんでもないですよ。あなたも東京弁と関西弁が話せるじゃないですか」と笑いながら一言返すと相手もニコニコします。

一つの言葉を持っていることは文化も所有していることに通じると思います。私はこのようにして黙々と三ヶ国比較文化の研究に励みました。そこで修士論文も当然ながら三ヶ国比較文化の領域に触れました。

「中・日・韓民間伝説の比較文化論的研究」は学界の好評を得て、その一部が中国の省レベルの社会科学研究誌に翻訳掲載されました。そして「中・日・韓三ヶ国創世神話の比較研究」も国際学会で発表しましたし、他の国際学会でも多数の論文を発表しました。

1997年の初め、弟の金明学との共著『激変する中国』が刊行され、韓国の読者に好評を得、版を重ねました。韓国の各大手新聞でも高く評価されました。

「本書は、韓国における大陸の人による大陸文化を解明したもっとも優秀な好著である」

「この本は、中国人と韓国人の比較を通じて中・韓両民族の文化的共通点と相違点を析出したもので、韓国人必読の良書である」

.....

今年の8月、日本語の著書『裸の三国志—日・中・韓三ヶ国比較文化論』を脱稿し、1998年の初め頃に出版が決まっています。

この本の韓国語版が1997年8月韓国ソウルで出版されましたが、中国語版も中国の中央紙大手出版社で同時出版を予定しています。

出版家たちの話によると、このように三ヶ国語で、三ヶ国の文化を比較した論著もすでに極めてユニークで異例なのに、特に三ヶ国で三ヶ国語によって同時出版することは世界出版史の前例を破り、ギネスブックにも収録できる快挙であるとのことでした。

この本の中で私は、文化人類学、比較文化論的方法を用いて、中・日・韓、この漢字文化圏に属する三ヶ国の文化を比較分析し、自分自身の三ヶ国にての体験を踏まえ、三ヶ国人の思考様式や生活様式、民俗習慣など諸分野における共通点と相違点を探り出しました。なかでもことに相違点にポイントを置いて考え論じました。

「国際化」や「オリエンタル回帰現象」が地球村を席卷する今日、本書が三ヶ国で三ヶ国語によって出版されることは意味深いと思われます。

私は自分流の『三国志』を休まず書き続けていきたいと思います。

子供、永遠に放浪する子供

東西文化に立脚した文壇の大家林語堂は、自ら「放浪者を理想像」とし、このように述べています。

「人類の尊厳は放浪者の理想と関連が深いし、規律に服従し、権力に従う兵士の理想とは絶対に無縁である。この意味でいえば、放浪者は人類の中で一番目立つ偉大な典型であるだろう。まるで兵士が人類の中で一番卑劣な典型であるように」（『生活的芸術』より拙訳）

もしも、私の理解が間違っていなかったら、林語堂の「放浪者」は生涯において真理と自由を追求し続け、自分流の崇高な目標を達成するため戦っていく強い個性をもった奮闘者であるでしょう。

私は、自分がこのような「放浪者であることを望み、決してその凡庸で俗な「兵士」にはなりたくありません。肉体、精神ともに私は自分自身のことを永遠の放浪者と自称したいのです。限りない学問の海の中で泳ぎ続ける子供のような放浪者。まさに子供っぽく幼稚で無知のため百万倍の意欲と努力がいるでしょう。

めでたいことにも、私は自分自身が選んだ学問の道でうれしい第一歩を踏み出しました。現在執筆中の拙著『「好色」の中国文明史』（韓国語版）が1998年なかば頃、韓国で刊行することになっており、副主筆を担当した80万字の長編専門書『中国人の日本留学百年史』もまもなく中国出版されます。この本は私の交渉によって日本のある出版社から翻訳刊行されることになっています。

現在執筆中であるものと計画出版の拙著のリストを挙げれば、下記のものがあります。

『「忍」・「恨」・「切」の文化人類学—中・韓・日民族性比較論』（日本語）

『満映の映像人類学的研究—日帝植民政策と満映』（日・中・韓三ヶ国語）

『誰も書けなかった日本』（上・下、韓国語・共著）

『「悪口」の東洋文化史』（韓・日二ヶ国語）

『美女の三国志』（日・韓・中三ヶ国語）

『私の「三国志」』（エッセイ集、中・日・韓三ヶ国語）

『在日中国朝鮮族の群像』（韓国語・編著）

『中国朝鮮族社会の文化人類学』（韓国語・編著）

『冬鳥』（小説選集・韓・中二ヶ国語）

.....

今年8月、韓国ソウル出版社の招待で韓国を訪問した頃、この出版社から専属作家としての招聘を受け、私の韓国語の本と文学作品はすべてこの出版社から独占で出版・発売することになりました。

すべての精力を研究執筆と創作に注ぎ込んだせいか、個人のプライバシー上では高い代価を払わなければならなかった私です。独りぼっちで孤独な私に、ある記者がインタビューをするとき聞きました。

「さびしくはありませんか？」と

私は笑いながら、

「ぼくには「孤独」という名の恋人がいつもそばにいるじゃないですか」

すると、記者がにっこりと微笑みを浮かべました。

出版社の編集が私に略歴を求めたとき、私はこのように書きました。

金文学、男、1962年中国東北の金氏の韓国人家庭に生まれ、その家族の中国における第三世代の長孫孫（長男の長男の長男）にあたる。「好酒」はしても「好色」ではない。「好歌」はしてもかろうじてリズムに合わせるか。顔は稚氣に満ちて、なお英俊にはほど遠い。ゆえに大人との距離とはまだ二歩くらい差があり、永遠に放浪する未熟な子供である。

1997年10月吉日

広島にて



金熙徳博士、田景教授、金文学作家達が講演を行った第44回天池倶楽部定例会

(著者紹介)

金文学（きん・ぶんがく）

1962年 中国・瀋陽の江陵金氏の長男として生まれる。

1985年 東北師範大学外国文学部日本文学科卒業。

1985年より六年間、遼寧教育大学助手・講師として勤務。

1991年 来日。同志社大学大学院文学研究科留学。

1994年 同志社大学大学院修了。文学修士学位取得。

1994年より同志社大学文学部客員研究員、同志社大学大学院博士課程、京都大学大学院博士課程研究生歴任。

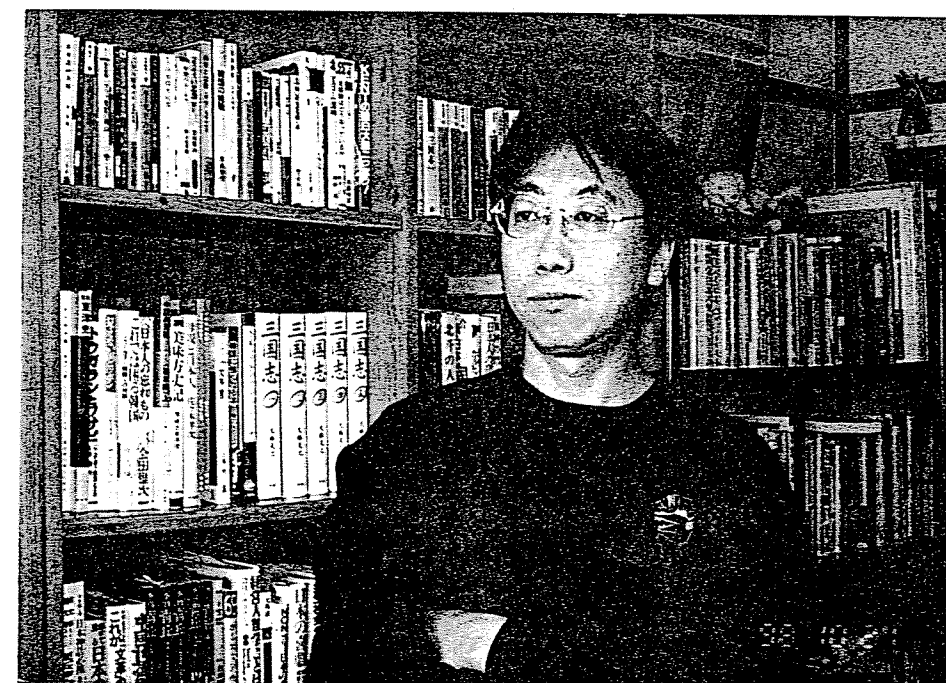
1996年より広島大学大学院社会科学研究科博士課程在籍中。

専攻は比較文学・比較文化及び文化人類学。現在、日本を中心に日・中・韓三ヶ国による執筆活動で活躍中。

左手は文学、右手は学問、「両棲類」的若手作家。国際高麗学会会員。国際韓国学及び比較学会会員。中国少数民族作家協会会員。

主要著書『中国文化の鬼神意識』（中国語・共著）、『裸恋』（中国語・エッセイ集）、『仮面世界与白色世界＝日・韓比較文化考』（中国語・訳書）、『激変する中国人と中国大地』（韓国語）、『青春的渴望』（中国語）、『中国人留学日本百年史』（中国語・共著）、『裸の三国志＝中・日・韓比較文化論』（韓・日・中語）、『＜好色＞の中国文明史』（韓国語・出版中）、『冬鳥＝金文学小説選集』（韓国語・出版中）。

その他、論文、評論、エッセイ、小説、詩、訳書多数。中国の文学賞四回受賞。



[일본속의 중국 조선족 군상-재일 중국 조선족의 자백]

원고 청탁서

현재 일본속에는 6천여명의 중국 조선족이 살고 있습니다. 우리 조선족 역사상 전례 없는 일본 진출의 “대군”을 형성하고 있습니다. 유학, 취학과 취직, 결혼의 길에서 이문화의 체험을 쌓으면서 분발하고 계실 뿐만 아니라 학계, 비즈니스, 매스컴, 연예계 등 제 분야에서 활약하고 있는 분들이 많이 계십니다.

일본에서의 조선족의 분투의 발자취를 기록하고, 재일 중국 조선족의 활약상을 중국 동포들에게 알리며, 중국과 일본 양국의 친선 교류와 이해에 기여하자는 취지로 이번 흑룡조선민족출판사와의 계약으로 우리는 “일본속의 중국 조선족 군상-재일 중국 조선족의 자백”을 편집, 출판하기로 했습니다.

이에 특히 원고 청탁을 드리오니, 부디 공사간 다망하신 가운데 좋은 글들을 보내 주시길 부탁드립니다.

중국 조선족 역사상의 한 페이지를 장식하는 이 쾌거에 당신의 발자취를 남기시지 않겠습니까? 여러분의 뜨거운 성원과 지지를 부탁드립니다. 상세한 집필 요항은 하기와 같습니다.

집필 요항

*집필 취지: 국내 조선족 독자들에게 일본에서의 생활상을 알리고 일본에서의 이문화체험과 삶의 이야기를 기록하고자 합니다.

*집필 요구: (1) 제1인칭, 진짜 인물과 사실, 진지한 감정과 개성특색
(2) 6000자안팎
(3) 저자약력(600자안) 및 사진 1매
(4) 집필 언어: 조선어 (부득이한 경우 중국어도 가능)

*마감 기일: 1998년 12월 30일

*원고 보낼 곳: 〒730-0011 広島市中区基町 18-1-2062

海外KOREAN研究会 代表 金 文学

TEL兼FAX: (082) 223-2698



フリーマーケット・自由市場・ジヤエジヤン <1>

へようこそいらっしゃい!

本誌では今期から自由市場を設けて会員皆様に

大風呂敷きを広げていただきます。私たち日本にいる中国朝鮮族の「交流、協力、共同発展」に利するものなら何でも結構ですのでフルに利用していただきたいと思います。今回は会員李東哲(吉林)さんに風呂敷きを広げていただきます。

— 編集部 —

「J・C・K 語学研究所」へようこそ

「J・C・K 語学研究所」というもっともらしき看板で12月1日から新橋に会社をスタートさせることになりました。有限会社か株式会社かはまだ先のことでございます。夢幻会社になるかも知れません。

ところで、「J・C・K」は何のことかということ、日本、中国、韓国の頭文字でございます。言うならば日・中・韓語学研究所になるわけです。頭が悪くて不惑の年になってもこの三ヶ国語しか覚えていませんから、私にとっては日本で生きていくための命の綱みたいなものでございます。また、昔は研究? が好きだったのでよくつまらない論文(感想文かも知れません)を書いたりて発表しました。そこで敢えてこういう偉そうな名前をつけたわけでございます。

ではこの会社で何をするかと言うと、名の通り語学研究を中心に語学講座などを開きます。日本語、中国語、韓国・朝鮮語講座です。日本語教師を相手に「中国語・韓国語講座」というユニークの講座も設けます。一石三鳥を狙っているわけです。他にも日本に在住する中国朝鮮族の要望に応じてコンピューター講座、英会話教室も開く予定です。中国朝鮮族に限って安い受講料で受講できます。その時になったらどうぞ、ご来社のほどお願い申し上げます。また、日・中・韓3ヶ国後の翻訳業務もやりますので、ご遠慮なく声をかけてください。さらに、来日したばかりの皆様がもっとも困っている住居の紹介、入居契約の連帯保証人の紹介、アルバイトの紹介なども付帯的に行います。急ぎの方は040-2086445までご連絡ください。

まだまだ話したいことは山ほどございますが、1ページのスペースしかございませんので、これで終わりにしたいと思います。

中国語、韓国語講座など希望者を紹介して下さる方には1名につき、謝礼として1万円差し上げます。講座は来春1月からスタートです。詳しくは、下記まで。

港区西新橋2丁目13番16号 多田ビル4階(11月いっぱいまでは上記の携帯まで) 李東哲

王 國

日本国家の
外国人登録証に
地域名「朝鮮籍」と刻まれている
わたしの国籍は
無国籍
のままで
三千里半島統一国家を
待ち望んでいる
わたしは
日本国籍を取らず
朝鮮民主主義共和国籍を取らず
大韓民国籍を取らず
に在日するサラム

あなたが日本国籍を取ること
あなたが共和国籍を取ること
あなたが大韓国籍を取ること
あなたがサラムであるならば
誰にも咎められないあなたの選択
なのにあなただけ
日本国籍を取れば
共和国籍を取れば
大韓国籍を取れば
咎められ いがみあうのは
ドンナドウリカ

無国籍を選択している
わたしは
日本国民ではないけれど
だからといって
共和国国民でも
大韓国民でも
ないのだから
共和国国民でなければ
大韓国民でも
日本国民でも
なく
大韓国民でなければ
共和国国民でも
日本国民でもない
この在日サラム
を
大韓政府は北韓人だと斥け
共和国政府は南朝鮮人だと斥け
三千里半島の地を踏ませないのは
ドンナドウリカ

三八線南北国家の両領土が
サラムの地へと戻るまで
密封したわたしの国籍を
心の国へ
投函したきり 返事なし

천지구락부 서로돕기코너 수수료에 관한 규정

천지구락부 理事會 사업부에서는 천지구락부 회원을 중심으로 일본에서 살고있는 우리 중국조선족들의 交流, 協力, 共同發展을 도모하기 위하여 서로돕기 사업을 하기로 결정했습니다. 회원여러분들의 많은 성원을 부탁드립니다.

구체적인 사업내용과 수수료는 아래의 같습니다.

1. 아르바이트 소개——아르바이트 소개가 성공되면 소개받은 사람
받은 소개한 사람에게 사례금으로 2萬円을 지불해야 한다

2. 주택소개——회원의 소개로 집을찾아 들게되면 소개받은 사람은 소개자에게 謝禮金으로 1萬円 지불해야 한다.

3. 주택 聯帶保證人 소개——주택 聯帶保證人을 소개받을 경우 소개받은 사람은 소개자에게 1萬5千円을 謝禮金으로 지불하는 동시에 1개월 집세에 상당한 금액을 押金으로 천지구락부에 지불해야한다. 단 押金은 계약이 끝나면 全額 본인에게 돌려드린다.

4. 대학원 지도교관 소개-----대학원 지도교관을 소개받았을 경우 소개받은 사람은 소개자에게 謝禮金으로 1萬円 지불해야한다.

★이상의 서로돕기 謝禮金은 일체 천지구락부 사업부를 통해 행해지므로 상호간의 聯絡은 천지인문 혹은 理事들을 통해 할수있습니다. 사례금은 천지구락부에서 수수료로 10%제하고 나머지는 全額 소개자에게 드립니다.

다음기부터 이상의 事業에 대해 소개받고 싶은 사람과 소개할수 있는 사람
을 천지인문에 掲載해 드립니다. 회원은 무료이고 회원이외의 분들은 1件掲載
하는데 千円씩 비용을 받습니다. 적극 利用해 주시기를 바랍니다.

~~~~~  
 廣告를 모집합니다

本誌에서는 다음기부터 광고를 대량적으로 모집합니다. 상업성광고는 잡지 1件당 회원은 무료 혹은 5千円以下, 회원이의 중국조선족들은 5千円부터 1萬円以下, 그의 사람은 1萬円부터 2萬円以下로 합니다. 광고를 모집해오는 분들에게는 전체광고액의 절반(50%)를 謝禮金으로 지불합니다. 천지구락부의 번영과 발전을 위하여, 개인의 호주머니를 불룩히 하기위하여 광고모집에 일떠서기를 바랍니다.

\*\*\*\*\*

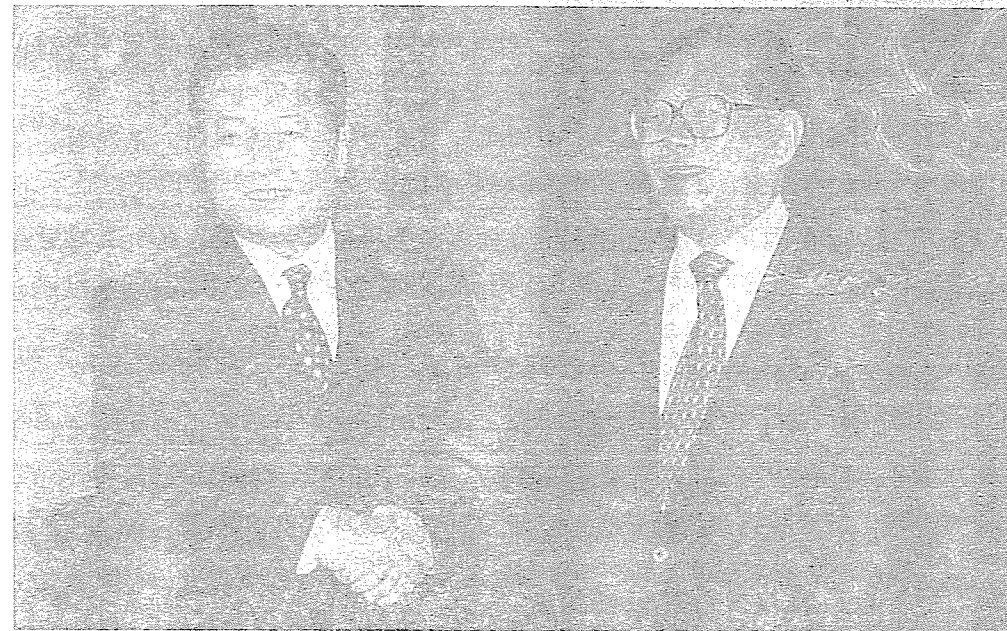
\$ \$ \$找工作\$ \$ \$

， 金石泰、男、三十四岁，朝鲜族，具有初级日语水平，现在在一所日语学校就读，喜爱电脑操作，曾在国内学过C语言，B a s i c 语言等，有10年左右的实际操作经验，想找一份关于电脑方面的工作（如果可能的话），本人正直又勤奋，愿意承担一切费用。

地址 174 東京都板橋区舟渡チエリハウス202 電話050-455-8207



## 中国・朝鮮半島の最近のトピックス



图为江泽民主席在人民大会堂主持仪式，欢迎韩国总统金大中访华。本报记者 王忠家摄



30日夜、急ぎよ実現した会談で握手を交わす鄭周永名誉会長（右）と金正日国防委員長（AP/WWP/現代グループ）

## 第4次天池倶楽部定例会開催

去る1998年10月25日（日）に文京区シビックセンター5階の会議室で天池倶楽部の主催で「中国朝鮮族日本進出経験交流会」が開かれました。交流会の趣旨には多くの在日中国朝鮮族が積極的な反応を見せ、約60名ぐらいの方々がご参加下さいました。日本人、在日韓国人、日中のマスコミ関係者10名ぐらいが参加するなど今回の交流会は社会的にも関心を引きました。

交流会では、金熙徳博士（中国社会科学院日本研究所主任研究員）、田景教授（明治大学文学研究科客員研究員・中国延辺大学外事処処長）、金文学氏（広島大学社会学研究科博士課程在学・中国朝鮮族作家）が、それぞれ「中国朝鮮族日本進出の意義及び成果」

「在米・在韓中国朝鮮族の活動」「東アジア社会における中国朝鮮族の発展可能性」などのテーマを中心に主題発言を行い、それに対して参加者が質問をする形式を取りました。交流会の議論はとても熱烈に行われ、最後は時間の制限で発言意欲を持っている方々の要求を全部満足させることができなかったのが残念でした。使用時間の都合上夜9時半に一旦交流会が終わり、大部分の人が会議場近所の喫茶店ールノアールに移って夜11時近くまで熱気の帯びた議論を続けました。

今回の交流会では外部から参加した質問者から中国朝鮮族のアイデンティティーの問題、南北朝鮮の統一問題に関する質問が多かったため、議論が幾らか交流会の趣旨と外れる面もありました。交流会の本来の趣旨－中国朝鮮族の日・韓・ロ・米など周辺国への大量の進出の問題はこれからも真剣に考えてみるべき課題だと思います。今回の交流会を通して、天池倶楽部が国際社会の中でより開かれた組織に、我々の意識もより国際化されるべきだということに多くの人々が意見を一致しました。





# 1998 年在東京地区中国朝鮮族秋遊大会記念



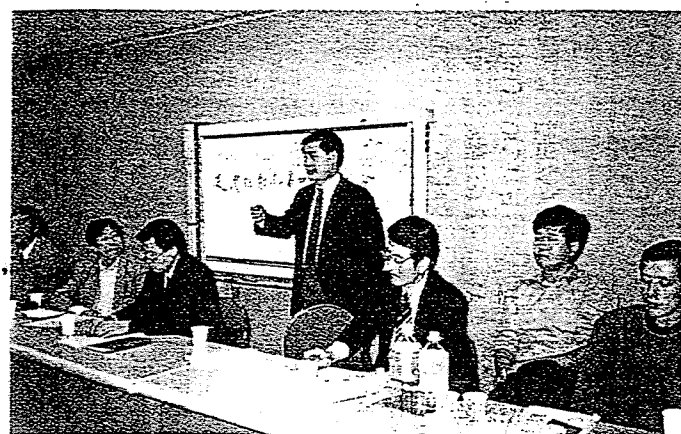
お知らせ：今回の9月20日東京葛西臨海公園での秋遊大会の写真をお求めの方は天池俱樂部事務局にお申し込みください。1枚50円にてご提供いたします。

## 日本の「統一日報」における天池俱樂部紹介文抜粋

### 定着化みすえ交流会

在日中国朝鮮族団体 天池俱樂部

十月二十五日、日本に在住する中国朝鮮族の主体団、かつて東京大学に留学した「天池俱樂部」は、本研究所で主任研究員を務める金熙徳博士、今春明治「中国朝鮮族日本進出経験」を聞き、日本にお



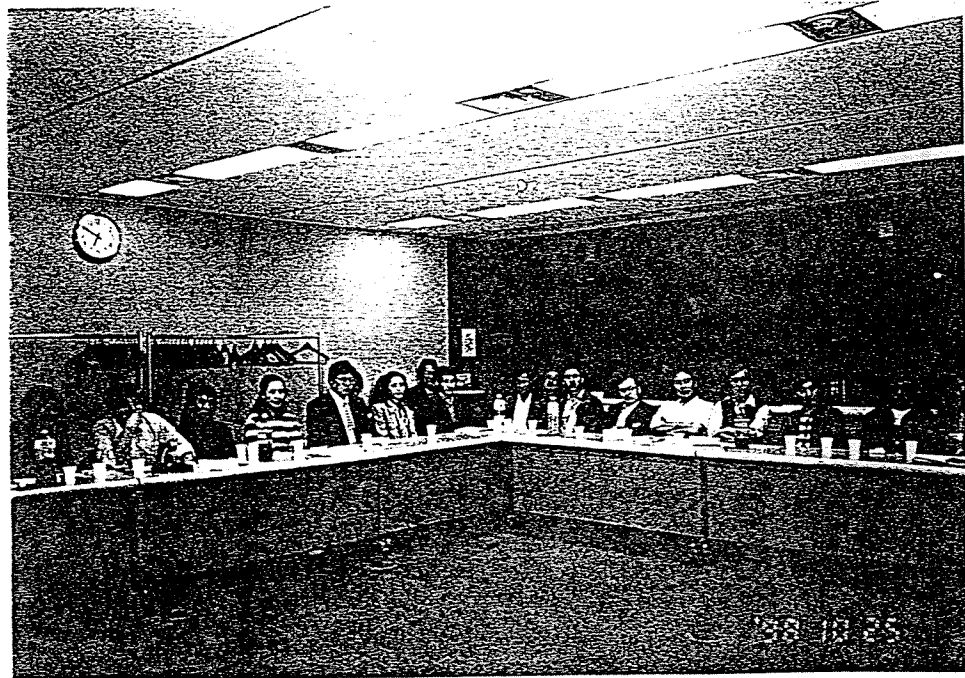
交流会で日本に在住する中国朝鮮族のあり方について熱弁を振るう田景教授（中央）

鮮族の作家金文学氏（広島大学大学院に在学）ら三人がそれぞれ「中国朝鮮族の日本進出——その意義と成果——」、「日・米・韓三方国留学体験」、「東アジア社会における中国朝鮮族の発展可能性」というテーマで発表し、会場討論を行った。

中国朝鮮族は八〇年代後半から留学、研究活動、ビジネスなどで来日しており、現在約六千人は日本にいて推定されている。数年前から留学から日本に就職する人も増え、中国朝鮮族の日本での定着が進んでいる。

しかし、日本における生活環境はどうか、これから日本の社会にどうやって生きていくのか、という問題が、日本に在住する中国人（漢族）などと同じ風儀である在日韓国人・朝鮮人とどのような関係を築いていくべきかが当然問題になっている。

交流会ではこのような問題を中心に、先の「在外同胞特例法」など国と民族の問題なども取り上げ、活発な議論が交わされた。また、今交流会では参加範囲をこれまでの中国朝鮮族オンラインから「開放」し、外部からの参加者も募ったため、マスコミ関係者を含め、七十人近くが参加した最大規模の討論会となった。同団体の今後の活動が注目される。



中国・日本新聞媒体関係者たちも参加した第44回天池俱樂部定例会一角

## 日本の雑誌「セヌリ」における天池倶楽部紹介文抜粋

## 在日中国・朝鮮族の動き

現在、日本に中国の朝鮮族が約3千名在住している。中国生まれ育ちの2世、3世たち、中国の大学を出て、あるいは専門学校を出て、日本の大学に留学している人たち、日本の企業に勤めている人たち、中国と日本の合弁会社に出向している人たち、日本人と結婚している人たちなどの親睦団体「天池倶楽部」（登録者約百名）が生まれて今年で3年になる。まだ新しい親睦団体だ。

毎月1回、月末の日曜日に集まり、近況の情報交換、留学生活、企業生活の経験談、日本での生活のA・B・C、就職口、結婚の話などが交わされている。

5月31日（日）PM 6:00 から、文京区役所の会議室で第39回目の会合が約45名の参加のもとに行われた。

セヌリ・ネットワークの会のスタッフが招待を受け、在日同胞の実情などの情報を提供した。8月に延辺へ行く話をする、延辺在住の若い男女の結婚の話がしきりに出て、結婚のあっせんを頼まれたりもした。

参加者の年齢は平均30代前半。某大学の講師や助教  
 になっている人、一流企業の社員になっている人、  
 小さな会社を経営している人、日本に来てまだ2・3  
 カ月しか経っておらず、就職口を探している人など、



互いに異国の地での不便さ、寂しさ、相互扶助をして  
いこうとするマダン（広場）になっていた。

なかなか民主的で今風な運営に好感が持てた。

今後、ビジネスをする者、人文学をする者、自然科学をする者など、分野ごとの動きに分かれていくことと、彼らが中国と日本との文化・経済の橋渡しのひとつの役割を担っていくのは間違いないだろう。そうした意味でセヌリ・ネットワークの会が、彼らと側面的・立体的なネットづくりをすることが、お互いに大きなメリットになる。また、「天池倶楽部」の関係者はそうした期待をにじませていた。

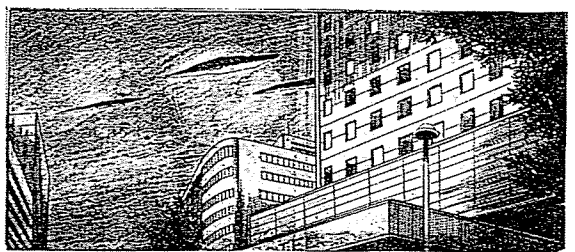
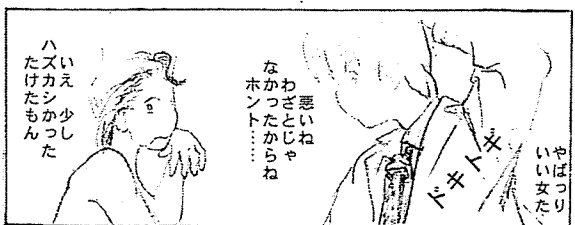
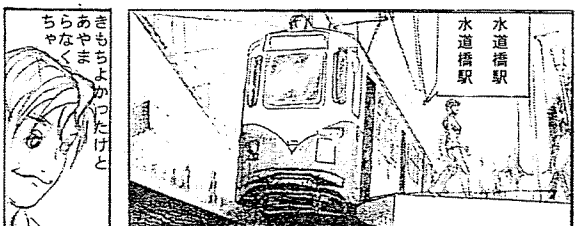
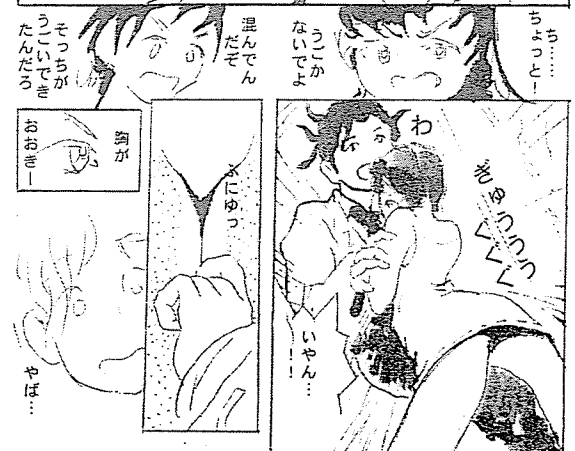
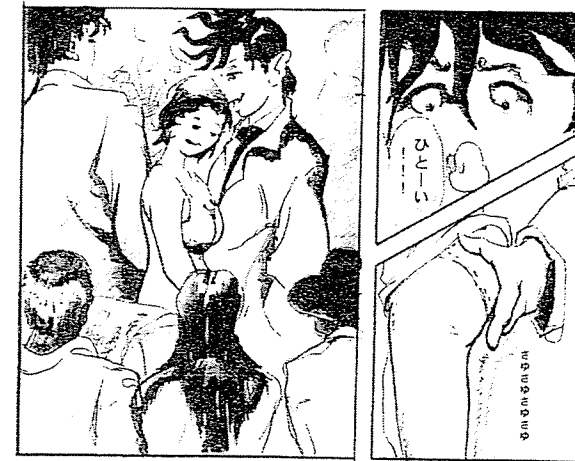
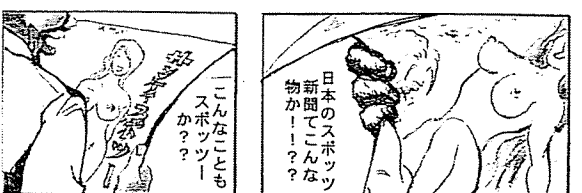
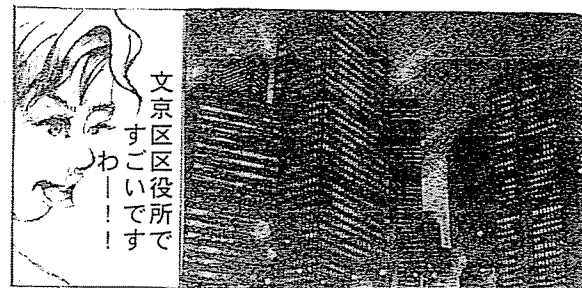
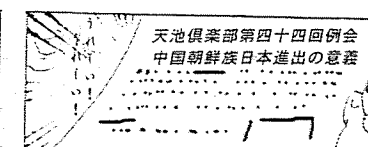
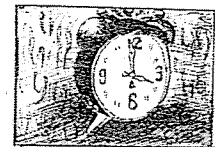
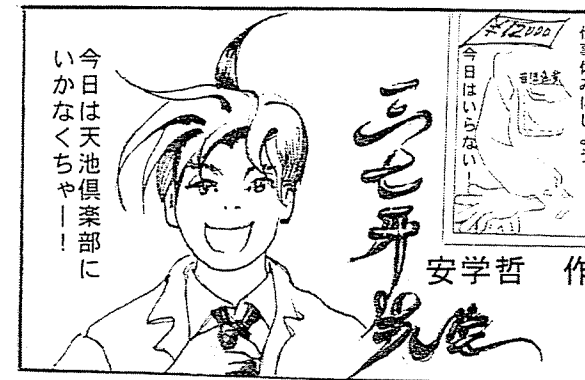
まだまだ微力で未熟であるが、数年後には活発な動きになる可能性を秘めているグループといえるだろう。

1998. JULY

새누리당



金熙徳博士、田景教授、金文学作家達が講演を行った第44回天池倶楽部定例会





## 数字で見る中国

陳万哲提供

| 項目           | 数値(億元)     | 去年同期比伸び     |
|--------------|------------|-------------|
| 国内総生産        | 15,899     | 7.2%        |
| (第一次産業)      | 1,549      | 4.0%        |
| (第二次産業)      | 8,519      | 7.8%        |
| (第三次産業)      | 5,831      | 7.0%        |
| 工業付加価値生産額    | 4,421      | 8.2%        |
| 固定資産投資       | 1,618      | 10.3%       |
| 社会消費品小売総額    | 7,136      | 6.9%        |
| 対中直接投資(実行)   | 85.96億米ドル  | 9.7%        |
| (契約)         | 87.19億米ドル  | 10.1%       |
| 貿易総額         | 698.4億米ドル  | 8.5%        |
| (輸出総額)       | 402.4億米ドル  | 13.2%       |
| (輸入総額)       | 296.0億米ドル  | 2.7%        |
| (貿易黒字)       | 106.4億米ドル  | 61.0%       |
| 外貨準備高        | 1406.0億米ドル | 昨年末1399億米ドル |
| 消費者物価指数(CPI) | -          | 0.3%        |
| 小売物価指数(RPI)  | -          | -1.5%       |
| 精算販売率        | 93.78%     | -0.7ポイント    |

国家統計局まとめ 出典:星島日報など

| ムーディーズによる投信会社7社の格付け |      |        |           |
|---------------------|------|--------|-----------|
|                     | 財務評価 | 長期外貨預金 | 短期外貨預金    |
| 中国国際信託投信            | D+   | Baa1   | Prime 3   |
| 上海国際信託投信            | D    | Baa2   | Prime 3   |
| 広東国際信託投信            | E+   | Baa2   | Prime 3   |
| 山東国際信託投信            | D    | Baa2   | Prime 3   |
| 福建国際信託投信            | D    | Baa2   | Prime 3   |
| 天津国際信託投信            | E+   | Ba1    | not Prime |
| 深セン国際信託投信           | E+   | Ba1    | not Prime |

## 外貨準備高ランキング

| 順位 | 国・地域   | 金額    | データの時期   |
|----|--------|-------|----------|
| 1  | 日本     | 2,236 | 1998年3月  |
| 2  | 中国     | 1,406 | 1998年2月  |
| 3  | 香港     | 968   | 1998年3月  |
| 4  | 台湾     | 840   | 1998年2月  |
| 5  | ドイツ    | 822   | 1998年2月  |
| 6  | シンガポール | 741   | 1998年2月  |
| 7  | 米国     | 713   | 1998年1月  |
| 8  | スペイン   | 690   | 1998年2月  |
| 9  | イタリア   | 578   | 1998年2月  |
| 10 | ブラジル   | 510   | 1997年12月 |

単位:億米ドル

出典:信報(データは香港金融管理局、IMF、ロイター)

## 『日本車 日本文化』简介

原留学生魯学海撰写的《日本車 日本文化》一书已经由北京的文化艺术出版社于十月末出版。

魯学海留学日本八年有余,对日本汽车和战后日本汽车发展史有了一点粗浅的了解,为了求教于能人和专家,不嫌浅陋将自己的体会写成册子,以作引玉之砖。

本书由“基础篇”和“车评篇”两部分组成。“基础篇”主要介绍了作者对战后日本汽车发展的分期和理由;日本各汽车公司的特征,和日本汽车社会的一些小知识。“车评篇”介绍了日本九家小汽车公司的十六辆小汽车。这些车是作者从租来开过的车中挑选出来的,自以为颇有代表性的车型,它们也许可以为想在日本购买小汽车的人提供一点参考。

借小汽车谈日本文化则是作者的一种尝试。作者总以为做学问可以有各种各样的方法和途径,写专业论文,洋洋数十万言,让专家和学者评点、赞叹和折服,当然值得尊敬;但写一些通俗小文,从人们熟悉的事物中发掘出可以供人们玩味的内容,也同样值得尊重。在市场经济已经渗透到各个角落的今天,作者以为后者也许能为高深的学问开拓更广阔的天地(这里没有否定前者的任何意思,而且并不是所有学问都可以写得通俗的),所以作者也希望这次尝试能为自己的学问生涯增添那么一点点的浪漫。

此书在内山书店有出售,价格为一千三百二十日元。天池俱乐部的成员如欲购买者请同本杂志编辑部联系。编辑部现有二十本此书,每本售价为八百日元。



魯学海  
1952年生于上海。  
1969年到延边插队,后考入  
延边大学。  
1988年留学日本筑波大学。  
1997年获博士学位。  
著有《日本的月亮》一书。

| 97年度国内家電メーカーの部門ランキング |                 |                 |
|----------------------|-----------------|-----------------|
| 売上高<br>10億元以上        | 税引き前利益<br>1億元以上 | 輸出額<br>一千万米ドル以上 |
| 1 海爾集團               | 春蘭集團            | 広東美的集團          |
| 2 春蘭集團               | 広東科龍(容声)集團      | 海爾集團            |
| 3 広東科龍(容声)集團         | 海爾集團            | 万宝電器集團          |
| 4 珠海市格力集團            | 江蘇小天鹅集團         | 上海シャープ電器        |
| 5 広東美的集團             | 珠海市格力集團         | 珠海市格力集團         |
| 6 杭州金松集團             | 広東美的集團          | 順德格蘭仕電器廠        |
| 7 江蘇小天鹅集團            | 河南新飛電器          | 広東科龍(容声)集團      |
| 8 上海上菱家用電器           | 合肥美菱集團          | 寧波富達集團          |
| 9 合肥美菱集團             | 杭州金松集團          | 合肥美菱集團          |
| 10 国信華菱集團            | 合肥榮事達集團         | 江蘇小天鹅集團         |
| 11 河南新飛電器            | 青島澳柯瑪集團         | 杭州金松集團          |
| 12 広東華宝空調器廠          | 上海上菱家用電器        | 江門市家用電器工業       |
| 13 合肥榮事達集團           | 順德格蘭仕電器廠        | 中山威力集團          |
| 14 上海シャープ電器          | 山東小鸭集團          | 春蘭集團            |
| 15 青島澳柯瑪集團           | 国信華菱集團          | 国信華菱集團          |
| 16 順德格蘭仕電器廠          | 上海日立電器          | 上海上菱家用電器(集團)    |
| 17 中山威力集團            |                 | 上海水仙電器実業        |
| 18 広東卓越空調器廠          |                 | 蘇州香雪梅電器         |
| 19 長嶺(集團)            |                 | 合肥榮事達集團         |
| 20 万宝電器集團            |                 |                 |

中国家用電器協会発表

出典:4月1日付「上海証券報」

| OECDの経済成長率予測           |       |             |      |
|------------------------|-------|-------------|------|
|                        | 98年   | 99年         |      |
|                        | OECD  | 政府          | OECD |
| 中国                     |       |             |      |
| 国内総生産                  | 7.2%  | 8.0%        | 7.5% |
| 国内需要                   | 7.2%  |             | 7.7% |
| インフレ率                  | 1.2%  | 3.0%        | 2.0% |
| 香港                     |       |             |      |
| 域内総生産                  | 0.9%  | 3.5%        | 3.8% |
| 域内需要                   | 1.5%  |             | 3.8% |
| インフレ率                  | 4.3%  | 5.7%        | 3.5% |
| その他東南アジア各国・地域(いずれもGDP) |       |             |      |
| シンガポール                 | 3.2%  | 2.5%~4.5%   | 5.2% |
| タイ                     | ▲1.5% | ▲3.0%~▲3.5% | 4.5% |
| インドネシア                 | ▲8.5% | ▲4%         | 2.0% |
| マレーシア                  | 1.4%  | 2.0%~3.0%   | 3.5% |
| フィリピン                  | 1.8%  | 2.4%~3.5%   | 4.0% |
| 台湾                     | 5.9%  | 6.2%        | 6.2% |
| OECD加盟国(いずれもGDP)       |       |             |      |
| 日本                     | ▲0.3% |             | 1.3% |
| 米国                     | 2.7%  |             | 2.1% |
| ドイツ                    | 2.7%  |             | 2.9% |
| 欧州連合                   | 2.7%  |             | 2.8% |
| 加盟29カ国                 | 2.4%  |             | 2.5% |

出典:9日付香港紙「信報」「香港經濟日報」

(転第26頁)

## 「朝鮮民族共同経済圏形成のための ワークショップ」提案が意味するもの

宮島 美花  
(早稲田大学・院)

1998年6月30日、ソウルで開催された「朝鮮民族共同経済圏形成のためのワークショップ」は、華僑・華人資本の導入に成功した中国の例を考慮しながら、在外同胞経済と食糧難、金融危機に喘ぐ南北朝鮮の経済との連繋によって国境を越える民族経済圏を浮上させ、民族経済全体の世界的成長と向上を実現する政策を模索した。本報告では、ワークショップでなされた報告を紹介した後、提案された韓国の新たな同胞政策が日本国内、日韓関係、環日本海諸社会・諸国家に向けて発信する変革について考える。

### 1. ワークショップでの発表者及び発表題目・内容

- ① 基調発題：이종달 教授（中央大学海外民族研究所所長、中央大学教授）『朝鮮民族共同経済圏成立の必要性』

国家間の障壁が崩れ、国境なき時代へ突入していつているが、韓国社会がIMF体制に編入されたことこそが真に我々に韓国の政治や経済が全世界と繋がっていることを痛感させた。民族を区画し保護する国境線が崩れ有名無実化した新時代にあつて、民族性を維持することは非常に難しくなっている。この問題を解決するために、IMF体制の中で民族性が危機に遭遇している我々は、中国が危機の中でむしろその民族の範囲を拡大再生産した方法から知恵をかりる必要がある。華僑経済圏が浮上しえたのは、彼らが本国と緊密な紐帯関係を維持し、相互利益を認定する文化、思想、生活習慣があり、さらに政府の政策がこれを束ねてくれたからだろう。民族共同体を形成するための基盤は、単純な愛国主義の強調よりも互いに利益となる頑強な経済共同体を作る事である。従つて朝鮮民族経済圏を形成することは実利的かつ歴史的危機を克服する重要な方法たりえる。具体的にはどのように相互利益を前提とした経済圏を組織するのか。華僑経済圏を参考とし、我々の民族経済圏を形成する方案として、在外同胞との連繋方案を検討する必要性がここにある。これは民族が生存する方案を準備することでもあろう。

- ② 第一主題：조준식 博士（ソウル女子大学史学科）『中国の華僑政策と中華経済圏』

本発表では華僑概念と中国人の海外移住史、華僑の経済力と華僑経済圏の形成過程及びネットワークに言及し、華僑経済圏の実状と特徴、中国の華僑政策の目的・性格、特に華僑を扱う機構・組織について詳述された。

- ③ 第二主題：이종환 博士（国会立法調査分析室）『朝鮮民族共同経済圏確立を志向する政策対案』

そもそも朝鮮民族文化経済共同体構築は21世紀の東北アジア経済圏形成の動きと関連して先駆的な研究者たちによって提示されていたが、韓国経済が危機に直面するなか、今日の経済難打開に在外同胞の経済的経済的力量を活用してみようという意図で新たな光を当てられている。中華人民共和国、中華民国、いずれの政府も積極的な華僑政策を敷き、これが母国と華僑経済との間の交流を推進し、中華経済圏の形成に寄与した点は見逃ごせない。中国のような積極的な在外同胞政策を我が政府は一度たりとも敷いたことがなく、今まで関心を示さなかったのに経済難が迫るや在外同胞の力量を積極活用しようとするのは余りにも近視眼的であるが、周辺4強国、米国、中国、日本、ロシアの狭間で生き残らねばならない我々の選択肢の一つとして朝鮮民族共同経済圏は魅力あるテーマであることに変わりはない。

本発表では以下の構成によって在外同胞社会間、及び在外同胞と母国間の経済交流の実態を詳述し、将来交流を拡大し得る政策案が模索された。

- a. 在外同胞間経済交流の実態
- b. 南北朝鮮と在外同胞間経済交流の実態
- c. 在外同胞政策の現状と問題点
- d. 朝鮮民族共同経済圏の基本理念と講じるべき国内・対外措置

### 2. ワークショップの提案が意味するもの

韓国では一般に在外同胞は歴史の犠牲者という認識が持たれてきた。「手を差し伸べるべき」対象を「手を繋ぐ」或いは「手を借りる」対象とさえ捉え直した意味は大きい。ワークショップで韓国の研究者は華人経済圏を自然発生的な市場機能として形成された交易と投資中心の民族的経済結合体と位置づけながら、中国の政策が果たした役割を注視しようとする。従つてワークショップが提案した民族経済圏実現のための政策は、民間の自発的な経済交流の活発化を阻害する要素を取り除き改善するために国家間交渉をも動員しようとする。提案された韓国の新たな同胞政策は日本国内、日韓関係、環日本海諸社会・諸国家にいかなる変革を発信するものであるのか？既にいくつかの先行研究が、多民族国家として運営されてきたロ・中は現実に行われている朝鮮民族の国境を越える経済交流に公認を与えた方が有利だと考えている事を明らかにしている。外国籍を取得していても民族的結合に参加できるような公的な措置は、この地域の政治的統治状況における国民集団と民族集団の交錯を加速させるだろう。そこでは、少数民族政策を持たず、国籍取得によって文化的に完全に同化する事が暗に強制される社会的風潮の根強い日本の動向が焦点となるし、しかもそれは在外朝鮮民族の中で歴史が古く、一定の経済規模を持つとして最も大きな期待を寄せられているのが在日朝鮮民族であることで深刻さを付与されている。



원고를 모집합니다

## 征稿启事

우리자신의 힘으로 《천지인문》을 잘 꾸려나가려면 회원 여러분의 공동한 노력이 필요합니다. 어떤 내용의 원고를 막론하고 우리 천지구락부의 발전에 유익하다면 모두 접수합니다. 시, 소설, 산문등 문학작품뿐만 아니라 문화, 경제교류에 관한 원고도 환영합니다. 천지구락부 또는 《천지인문》에 대한 건의, 의견도 보내주기를 바랍니다. 망치를 가지고 있는 분은 망치 들고나오고 호미를 가지고 있는 분은 호미를 들고 나오기를 바랍니다. 언어도 조선어, 한어, 일본어 自由自在입니다. 다른 회원들과의 정보교류를 원하시는 분들도 《천지인문》을 충분히 利用하기를 바랍니다. 잠시적으로 원고비는 지불해드리지 못합니다만 掲載되는 원고는 일본에 살고있는 우리중국조선족들의 歷史의 한페이지로 영원히 남게될 것입니다.

원고에 관한 문의, 상담은 《천지인문》편집위원회로 聯絡주십시오.

李東哲 144-0047 東京都大田区萩中3-29-4-401 電話 (fax)03-3741-4926

金炳哲 124-0025 東京都葛飾区西新小岩4-39-5-107 電話 (fax)

03-5670-5759

편집후기 / 編輯後記

지난달의 總第18期에 이어 이달 第19期도 회원 여러분의 적극적인  
협력하에 순리롭게 간행되었습니다. 卷頭言, 자유시장, 만화, 수자로 보는 중국,  
연변축구팀 소개등 다종다양한 내용들이 지면을 점하고 있습니다. 그리고 조선  
작가 김문학씨는 [나의 삼국지]를 寄稿해 주셨습니다. 편집부를 대표해 심  
심한 감사를 표시합니다.

이번 第19期를 편집하기 위해 3차례나 편집회의를 가지게 되었습니다. 편집위원들은 물론이고 일부회원들도 귀중한 시간을 떼내어 편집회의에 참석해주셨습니다. 원 연변일보사 편집 김삼선생님께서도 번마다 편집회의에 참석하여 보귀한 의견들을 많이 제기해 주셨습니다. 이 지면을 빌어 감사드립니다.

이번기는 第18期에 비해 페이지수가 약 3배로 증가되었습니다. 내용상에서는 아직 미흡한 점들이 아주 많습디다만 한걸음 한걸음 잡지모양으로 접근해가지 않는가 생각합니다. 회원여러분들이 모두 천지인문에 관심을가지고 호상협조해 나간다면 멀지않은 장래에 꼭 정식 인쇄물로 변하여 우리 일본에 살고 있는 중국조선족들의 정보교류중심과 정신적 支柱로 될것입니다.

다음기에는 더욱 다양하고 세련된 내용으로 잡지를 꾸리기 위하여 여러분들의 사심없는 노력과 협력을 바랍니다.

編輯部

在日中国朝鲜族一九九八年度忘年会

年の瀬が近づいてまいりました。在日中国朝鮮族同胞の皆様、お元気で過ごしてはいかがでしょうか、お伺い申し上げます。いつの間にかお正月が近づいて参ります。家族団らんの季節が近づくと、我々は故郷に対する懐かしさ、父母兄弟に対する恋しさが募るばかりです。それでは、せめて年に一度は同じ中国朝鮮族同胞たちが一堂に集まって、同じ言葉で綿々たる同胞の情を分かち合い、聞き慣れた故郷の歌を歌い、お互いの情報交換もしながら、異国での寂しさを忘れ、希望に満ちた新年を迎えては如何でしょうか。

以上のような趣旨を以って、天池倶楽部と延辺大学

学生会が共に在日中国朝鮮族一九九八年度忘年会を開催致したいと思っております。日本に在留している中国朝鮮族同胞の皆様、条件が許される方々はどうか奮ってご参加下さい。そして皆様のご家族、周辺の朝鮮族の方々も誘って下さい。より多くの朝鮮族同胞たちが今回の忘年会に参加されるよう切にお願い申し上げます。今回、忘年会の会場として使用するアジア青少年センター国際会議場は200人程度を充分収容できますのでご安心下さい。在日中国朝鮮族同胞の皆様、我々が、我々のための、我々の忘年会を一度盛大に行いましょう。もちろん、中国朝鮮族にご関心のある方々も国籍・民族を問わず歓迎します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

忘年会日時：1998年12月27日（日） 午後5：00—10：30

場 所：アジア青少年センター国際会議場（在日本韓国YMCA九階）

参加費：男性：4、000円（生活が困難な学生は3,000円可）

女性：2、500円（条件のある家庭では各自得意なお料理を一品持参してください）

子供：無料

忘年会準備・連絡担当者：

朴 鶴(天池俱樂部代表理事) TEL: 03-3753-6068 HP: 010-110-2461

李東哲 (延邊大學學友會會長) TEL : 03-3741-4926

金尚太（天池俱樂部事務局長） TEL：03-3334-8518 HP：060-660-5648

金光林 (忘年会企画担当) TEL: 042-389-6560

金炳哲 (忘年会企画担当) TEL: 03-5670-5759 HP: 080-342-7105

鄭 傑 (忘年会企画担当) TEL: 047-430-2148 HP: 010-843-8431

準備の都合で忘年会に参加される方は12月26日まで準備・連絡担当者までに電話・ファックスあるいはハガキでご一報ください。なお、忘年会に参加される方々はもし家に寝かしている白酒・焼酎・人参酒・ウイスキー、干した明太・ドラジなどがあれば積極的に持ってきてください。とにかく皆でわいわいと楽しい忘年会を開きましょう。

なお当日サッカー親善試合を行う予定です。

サツカ親善試合

延边大学隊 VS 天池倶楽部隊

時間：1998年12月27日（日曜日） 12：30～15：30

場所：御茶の水東京大学運動場

集合：JR 中央線 御茶の水駅（当日12：00まで）

費用：〒1、000円/人

担当：鄭 傑      047-430-2148    010-843-8431

備考：サッカー用の運動服、靴は自分で準備すること。

都市の失業人工(単位:万人) (上接第20頁)

|           |      |
|-----------|------|
| 一時解雇者     | 600  |
| 登記失業者     | 600  |
| 新規一時解雇者   | 300  |
| 新規労働人口    | 274  |
| リストラによる解雇 | 310  |
| 農村からの流入   | 300  |
| 総計        | 2384 |

※香港経済日報

銀行の不良資産が各指標に占める比率(単位:%)

|        | 対与信<br>総額比 | 対国内総生産比 |    |
|--------|------------|---------|----|
|        |            | 上限      | 下限 |
| 中国     | 35~60      | 35      | 60 |
| タイ     | 25~40      | 37      | 60 |
| インドネシア | 25~40      | 16      | 25 |
| フィリピン  | 15~30      | 9       | 18 |
| マレーシア  | 15~30      | 24      | 49 |
| 韓国     | 15~30      | 22      | 44 |
| 台湾     | 10~20      | 15      | 30 |
| シンガポール | 10~20      | 11      | 22 |
| 香港     | 10~20      | 18      | 35 |

出典:7日付香港紙「信報」  
(スタンダード&プアーズの推測値:97年末時点)

忘年会日時:1998年12月27日(日)

場 所:アジア青少年センター国際会議場(在日本韓国YMCA九階)

時 間:午後5:00-10:30

参加費:男性:4,000円(生活が困難な学生は3,000円可)

女性:2,500円(条件のある家庭では各自得意なお料理を一品持参してください)

子供:無料

忘年会準備・連絡担当者:

朴 鶴(天池俱樂部代表理事) TEL:03-3753-6068 HP:010-110-2461

李東哲(延辺大学学友会会長) TEL:03-3741-4926

金尚太(天池俱樂部事務局長) TEL:03-3334-8518 HP:060-660-5648

金光林(忘年会企画担当) TEL:042-389-6560

金炳哲(忘年会企画担当) TEL:03-5670-5759 HP:080-342-7105

鄭 傑(忘年会企画担当) TEL:047-430-2148 HP:010-843-8431

#### JR線

水道橋駅 徒歩5分

お茶の水駅 徒歩7分

#### 地下鉄

水道橋駅 徒歩7分

お茶の水駅 徒歩9分

神保町駅 徒歩7分

#### JR Line

Suidobashi sta. 5 min.

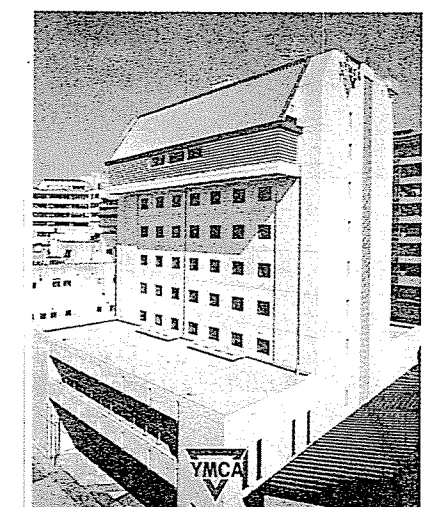
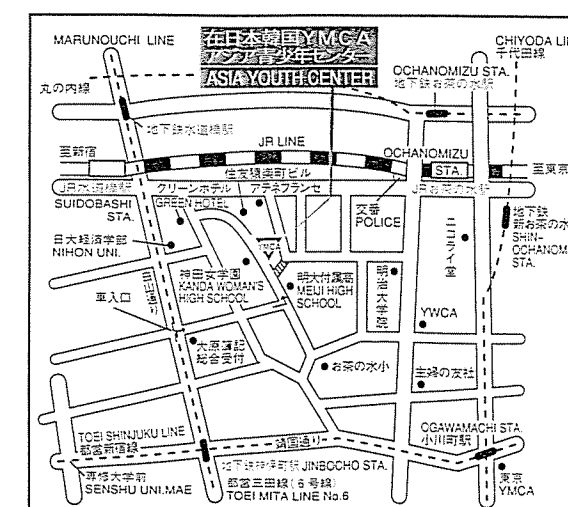
Ochanomizu sta. 7 min.

#### Subway

Suidobashi sta. 7 min.

Ochanomizu sta. 9 min.

Jimbocho sta. 7 min.



## 天池俱樂部からのお願い

当倶楽部は中国朝鮮族の交流を促進することを目的とした非営利組織です。交流、協力及び共同発展をモットーに共に活動して行きたいと思ひます。活動は会員の皆さんの会費と寄付金により運営されており、毎月最後の日曜日の午後、文京区役所で定例会を行います。また、会員様に「天池人文」をお届けします。今後とも暖かいご支援を賜りますようお願いいたします。

### 年度会費

正会員 3,000円

学生会員 1,000円

振込先：東京三菱銀行 小飯田橋支店

テンクラブ インショウシュ サマ

0005 071 0228416

我々が考え

我々が実行し

我々が支援し

我々の夢を実現する

### 天池倶楽部理事会

|     |                                                                                      |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 朴 鶴 | 〒144-0051 東京都大田区西蒲田4-15-6 緑マンション105室<br>TEL/FAX:03-3753-6068 HANDPHONE:010-110-2461  |
| 金相太 | 〒168-0000 東京都杉並区宮前2-24-38 宮前コーポ第三105室<br>TEL/FAX:03-3334-8518 HANDPHONE:060-660-5648 |
| 李東哲 | 〒144-0047 東京都大田区萩中3-29-4 401室<br>TEL/FAX:03-3741-4926 HANDPHONE:040-208-6445         |
| 金光林 | 〒206-0012 東京都多摩市貝取1-60-7 新緑ハイム101室<br>TEL:0423-89-6560                               |
| 金万寿 | 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀6-2-34 Tハイム 62C-102<br>TEL:0422-79-3750                           |
| 徐光哲 | 〒182-0000 東京都調布市深大寺南町1-6-10 南町ハイム202室<br>TEL/FAX:0424-41-7441                        |
| 吳海英 | 〒166-0000 東京都荒川区西尾久3-8-12 国際交流会館316室<br>TEL/FAX:03-3819-8268                         |

## 第四十五回天池倶楽部例会 在日朝鮮人の民族教育の実態

在日は如何して在日になったのでしょうか、そして在日はどうやって子供に民族教育をしているのでしょうか、その教育は子供にどのような影響を与えているのでしょうか…朝鮮大学教授康成銀先生を招いて公演します。私達中国朝鮮族に於いて日本進出後、同じ環境でどうやって生活基盤を創るべきでしょうか、そして私達の子供教育問題は如何考えるべきでしょうか。一緒に考えて考える見ませんか。

### 記

例会日時：1998年11月29日（日） 午後6：00～9：20

場 所：東京都文京シビックセンター（文京区役所ビル）4F会議室

（地下鉄：後楽園駅と春日駅 JR：水道橋駅 より）

担 当：金相太 TEL/FAX:03-3334-8518 HANDPHONE:060-660-5648

朴 鶴 TEL/FAX:03-3753-6068 HANDPHONE:010-110-2461

### 公演者のプロフィール

| 氏名                                                                                    | 康成銀（강성은）                                                                    | 著書および論文                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生年月日                                                                                  | 1950年4月27日 48歳                                                              | 著書<br>『天道教上層部の活動とその性格』金日成総合大学出版部、1986年（朝鮮語文）<br>在日朝鮮高級（高等）学校教科書『朝鮮歴史』学友書房、1995年（朝鮮語文）<br>論文<br>「戦時下日本帝国主義の朝鮮農村労働力収奪政策」（『歴史評論』1979年11月号）<br>「20世紀初頭における天道教上層部の活動とその性格」（『朝鮮史研究会論文集』24、1987年）<br>「3・1運動における『民族代表』の活動に関する一考察」（『朝鮮学報』130、1989年）<br>「朝鮮と日本の大学生が作った朝・日条約私案」（『歴史地理教育』1997年11月号）等 |
| 現住所                                                                                   | 〒167-0054 東京都杉並区松庵3-2-5<br>TEL 03-3335-2145                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 勤務先                                                                                   | 朝鮮大学校教授<br>〒187-8560 東京都小平市小川町1-700<br>TEL 0423-41-1331<br>FAX 0423-44-1300 |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 1991年から現在まで 東京外国語大学朝鮮語学科非常勤講師<br>1995年から97年まで 千葉大学文学部非常勤講師<br>1993年、98年 信州大学人文学部非常勤講師 |                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

## 연변 축구팀 개황

연변축구팀（원 길림성축구팀）은 1955년8월1일 정식으로 성립되었다. 당시 길림성의 축구운동수준은 연변을 제외하고는 보편적으로 낮았는데 성체육 운동위원회에서는 길림성축구팀을 연변축구팀에 기초하여 조직하였다. 당시 연변에는 우수한 축구선수들이 많았는데 1953년 전국청년축구련맹경기에서 연변청년팀이 2등을 했고 1955년 전국축구련맹경기에서 7등을 했는데 이런 훌륭한 성적을 기초로 연변축구팀을 꾸렸다. 당시 연변축구팀은 성립되기는 하였지만 여러가지 곤난에 직면하였는데 간고분투하는 정신으로 빠른시일에 기술전술, 신체소질, 정신면모 등 방면에서 큰 제고와 발전을 가져왔다.

연변축구팀은 경기장에서 용감하고 완강한 풍격을 갖고있어 「장백의 호랑이」라고 불리웠으면 1956년 당시 국가체육운동위원회 주임인 하룡원수께서는 연변팀선수들을 만나주셨고 「연변팀은 국가팀의 기술을 따라배우고 국가팀은 연변팀의 훌륭한 풍격을 학습해야한다」고 선수들을 고무격려해 주었다. 그해 연변팀은 전국축구련맹경기에 출전하여 5등의 성적을 따냈다.

당시 체육운동의 신속한 발전은 연변체육운동수준을 새로운 단계으로 끌어올렸다. 하여 원 연변팀의 선수였던 박만복, 최종석은 료녕팀 조선족선수인 장경천과 함께 16차올림픽대회에서 중국국가축구팀 주력선수로 활약했다. 1956년 우리나라 체육운동건장제도가 나오자 그들은 첫째의 체육운동건장칭호를 수여받았으며 일찍 간도성 선수로 활약했던 최동현은 중국축구협회위원으로 당선되었고 만주국선수로 활약했던 박로석은 중국축구협회 심판위원회위원으로 당선되었다.

연변축구팀은 설립된이래 중국축구갑급팀행렬에서 날래게 활약했다. 그들은 1957년에 7등, 1958년에 4등을 했고 리광수, 방정훈, 최철봉, 손중천, 지운봉은 축구건장으로 되었다. 1959년에 8등, 1960년 전국제1차운동회에서 4등, 1962년에 5등을 했다. 그러나 1963년 경기에서는 갑급팀으로부터 을급팀으로 떨어졌는데 이는 추구운동을 몹시 사랑하는 연변인민들의 기대에 어긋나는 일이였으므로 축구팀의 지도자와 선수들은 여론의 압력을 받게되었다. 그후 지도자와 선수들은 실패한 경험을 참답게 총화하고 교훈을 섭취하여 새로운 훈련원칙을 제정하여 어렵고 엄격하며 실제로부터 출발하고 대운동량훈련을 진행하였으며 내강도, 대원도, 초경기량훈련을 진행한데서 자기의 풍격을 회복하고 기술, 전술, 신체소질방면에서 큰 제고를 가져왔고 1964년 전국축구을급팀경기에서 2등을 하고 다시 갑급팀으로 승급하였다.

갑급팀으로 복귀한 연변팀은 1965년 전국축구갑급팀경기에서 1등의 보좌에 올랐고 또 체육운동풍격상을 받았고 또 그해에 열린 전국제2차체육운동회에서 4등을 하였다.



1966년부터 1976년까지는 10년동란으로 하여 축구운동이 파괴되었고 운동수준이 급속히 하강되었다.

1977년부터 지금까지 연변팀은 3차례나 을급팀으로 하강하였다가 다시 갑급팀 보좌에 올랐다. 연변팀은 전국축구갑급팀 A조련맹경기에서 우수한 성적을 따냈는데 1997년에는 4등을 했고 1998년에는 10등을 했다.

연변팀은 국가축구팀에 우수한 선수 30여명을 수송했는데 50년대 리봉춘, 김룡호, 박만복, 최중석, 김병규, 김창길, 김시중, 최태환 등 선수들이었고 60년대 문정오, 지운봉, 허경수, 지청룡, 정종섭 등 선수였고 80~90년대 김광수, 고종훈, 리홍군, 방근섭 등 선수들이었다.

연변팀은 성립된때로부터 곡절많은 40여년의 역사를 걸어왔다. 1955년부터 1960년까지는 조직이 있고 지도가 있으며 계획적으로 발전, 제고한 단계였고 1961년부터 1965년까지는 자연재해의 영향으로 곡절적인 길을 걸어온 단계였으며 1966년부터 1976년까지는 10년동란으로 하여 축구운동이 엄중히 파괴되고 운동수준이 급속히 하강되었으며 축구대오의 계승자가 끊어진 단계였고 1977년부터 새로운 생명력을 갖고 점차 회복, 발전, 제고되는 단계였고 지금 축구직업화를 실시하면서 갑A조 행렬에서 조선민족 축구수평을 과시하며 몇몇한 「장백호랑이」로 우리민족의 영예를 떨치고 있다.

# 연변팀 선수명단

| 성명  | 번호 | 위치 | 출생년 | 키(미터) | 성명   | 번호 | 위치 | 출생년 | 키(미터) |
|-----|----|----|-----|-------|------|----|----|-----|-------|
| 고수춘 | 1  | 키퍼 | 78년 | 1.91  | 오영군  | 18 | 하프 | 78년 | 1.75  |
| 리광호 | 3  | 수비 | 71년 | 1.85  | 황용   | 19 | 하프 | 71년 | 1.70  |
| 문광혁 | 5  | 하프 | 77년 | 1.83  | 정동철  | 20 | 공격 | 78년 | 1.75  |
| 황경량 | 6  | 수비 | 63년 | 1.77  | 김룡택  | 21 | 하프 | 77년 | 1.74  |
| 장경화 | 7  | 수비 | 71년 | 1.77  | 고종훈  | 22 | 하프 | 65년 | 1.76  |
| 샤샤  | 8  | 공격 | 79년 | 1.87  | 리강림  | 23 | 공격 | 73년 | 1.76  |
| 발렌티 | 9  | 수비 | 76년 | 1.83  | 최용   | 24 | 수비 | 78년 | 1.78  |
| 리찬길 | 10 | 공격 | 75년 | 1.75  | 홍준   | 25 | 공격 | 78년 | 1.69  |
| 천학봉 | 11 | 하프 | 77년 | 1.72  | 오근룡  | 26 | 하프 | 78년 | 1.75  |
| 현춘호 | 12 | 하프 | 75년 | 1.76  | 류성무  | 27 | 수비 | 69년 | 1.85  |
| 황동춘 | 13 | 하프 | 72년 | 1.76  | 김룡산  | 28 |    | 77년 | 1.76  |
| 김청  | 15 | 하프 | 77년 | 1.70  | 블라이마 | 29 | 키퍼 | 69년 | 1.81  |
| 송소우 | 16 | 하프 | 78년 | 1.71  | 김정근  | 30 | 키퍼 | 75년 | 1.80  |
| 왕광위 | 17 | 공격 | 78년 | 1.78  | 유봉   | 31 |    | 80년 | 1.70  |
|     |    |    |     |       | 황룡복  | 32 |    | 77년 | 1.77  |

會員 鄭杰 제공